

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課(内線:7523)

2目 文化財保護費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)とっとりの文化遺産魅力発掘事業	1,586	0	1,586				1,586	
トータルコスト	3,982千円(前年度0千円)[正職員:0.3人]							
主な業務内容	プロジェクト会議・検討会の運営、各種イベント等の企画・運営							
工程表の施策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の概要

妻木晩田遺跡、上淀廃寺、三徳山から近代化遺産(若桜鉄道・五臓圓ビルなど)まで、県内の優れた文化遺産を観光資源としても活用できるようその魅力の発信を行う。

また、現在ははまだ文化財としては評価されていないが、琴浦町の「鰻絵(こてえ)」や、日野郡の「たたら」など地域特有の資源に光を当て、観光資源ともなる文化遺産の掘り起こしを行う。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
文化遺産の魅力発掘プロジェクト会議	474	文化遺産の積極的な活用推進のため、市町村・NPO法人やボランティアガイドなどによる会議を観光部局と連携して立ち上げ、文化遺産を観光資源として活用し、地域活性化に向けた取組みを進めるためのマスタープランを検討する。
文化遺産の観光資源としての活用	89	<ul style="list-style-type: none"> ・「とっとりレトロ」といったテーマを設けて倉吉玉川・智頭板井原などの歴史的な町並みや若桜鉄道・五臓圓ビルなどの近代化遺産をホームページなどで重点的にPR ・妻木晩田遺跡周辺や歴史の道(古道)ウォークに加えて、法勝寺電車廃線などをたどるコースの設定を検討し、歴史遺産ウォークを展開 ・各施設相互研修によるその他ボランティアガイドの養成等
観光資源となる文化遺産の掘り起こし	1,023	琴浦町などに伝承されている「鰻絵」や日野郡を中心に県内に多く見られる「たたら」の検証、山陰最古の駅舎「御来屋駅」など鉄道遺産の検討

3 これまでの取組状況、改善点

これまで有形無形の文化財について、着実に国・県指定、国登録を行ってきている。

これらの、文化遺産としての価値を評価するとともに、観光資源として有効に活用し、観光誘客にもつなげる取組みを推進する。